※令和5年度以降入学生用

学校番号	1003

令和　5　年度　　芸 術　　科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	2　単位	年次	1　年次
使用教科書	「Tutti＋」（教育出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

音楽の学習は、クラスメイトと共に実際に音楽活動に取り組み、身体で表現することで身に付けることができます。

授業での経験によって、音楽への理解を深め感性が豊かになり、創造力を持って音楽を愛好する心情が、生涯、みなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

(1)曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
(2)自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
(3)主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。【知識】 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。【技能】	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・共同的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和5年度以降入学生用

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1	歌唱	・校歌 ・少年時代 ・浜辺の歌	a:【知】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。 【技】姿勢や呼吸などの身体の使い方の技術、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 b:親しみやすい歌や校歌のリズム、旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わり方について考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:独唱や二重唱、二部合唱など音楽を幅広く様々な観点から据えようとすることに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表	振り返りシート 発表	観察
	器楽	・アルトリコーダー いつも何度でも ・ギター カノンによるギター・エチュード 茶色の小びん Greensleeves	a:【知】曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。 【技】曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b:旋律、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表	振り返りシート 発表	観察
2	歌唱	故郷 Caro mio ben	a:【知】曲想と音楽の構造や歌詞、文化的・歴史的背景との関わりについて理解している。【技】他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。 b:旋律を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わり方について考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:イタリア歌曲にチャレンジをし、主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表	振り返りシート 発表	観察
	鑑賞	オペラ座の怪人 箏曲「六段の調べ」 アジアの様々な音楽 世界の声の音楽、楽器の音楽	a:【知】我が国や郷土の伝統的の種類とそれぞれの特徴について理解している。 b:音色、速度を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わり方について考え、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:その教材の学習に粘り強く取り組んだり、関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表	振り返りシート 発表	観察
3	創作	コンサートを企画しよう 言葉を生かして旋律をつくろう	a:【知】音素材、音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解すること。 【技】音楽を形づくっている要素の働きを変化させ、変奏や編集をする技能を身に付ける。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わり方について考え、自分や社会にとっての音楽の意味や価値について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって表現をしている。 c:その教材の学習に粘り強く取り組んだり、関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート 発表	振り返りシート 発表	観察

※　表中の観点について　　a:知識・技能　　b:思考・判断・表現　　c:主体的に学習に取り組む態度